

エピソード

右耳近く

(akr_0370) あかり「……おじさん、今日は「めんね?」

(akr_0371) あかり「あかり、調子に乗り過ぎちゃって……おちんぽ、疲れちゃったよね……おじさんが元気にぴゅっぴゅしてくれるのが嬉しくて……つい……」

(akr_0372) あかり「これじゃあ、働いてた時よりも疲れちゃうよね……反省……してます……」

(akr_0373) あかり「……でもっ、でもねっ、ほんとに嬉しかったの……おじさんがぴゅっぴゅしてくれると……あかりは「こにいてもいいんだって」いう気持ちになれて……」

(akr_0374) あかり「……あかり、ずっと怖かったから。そのうち、おじさんに嫌われちゃうんじゃないかなって……働いてた時の方が楽しかったって思われちゃうんじゃないかって……」

(akr_0375) あかり「だから……おじさんに喜んでもらいたくて……いつも必死で……」

(akr_0376) あかり「……ねえ、おじさんは働くのをやめて後悔してない? あかりといっしょにいて楽しい?」

(akr_0377) あかり「……お世辞でも楽しいって言ってくれて嬉しい」

(akr_0378) あかり「おじさんにはね、すごく感謝してるの……だって、正体もよくわからないあかりを、こうやってそばに置いてくれて……優しく頭も撫でてくれて……」

(akr_0379) あかり「普通は、もつと怪しんだりするものでしょう? なのに、おじさんはあかりのことを疑ったりしなかったもんね……」

(akr_0380) あかり「……おじさん、あかりがどこから来たか知りたい? どの誰なのか気にならない?」

(akr_0381) あかり「ああ、「めんね。もう今日は眠いよね、いっぱいいっぱいおちんぽから出したもんね……」

(akr_0382) あかり「いいよ、眠って……あかりはもう少し起きてるから……おじさんが寝付くまで、見守ってるね……」

(akr_0383) あかり「……………」

(akr_0384) あかり「……おじさん? もう寝ちゃった?」

右耳近く(前ページの続き)

(akr_0385) あかり「ふふ、寝ちゃったんだ……今日はいっぱい出すところを見せてくれてありがとう……ゆつくり休んでね……」

(akr_0386) あかり「……………」

(akr_0387) あかり「……おじさんは気付いてないよね。毎日、働いてた時にあかりの真下を歩いてたの……」

(akr_0388) あかり「子供の頃に、おじさんがあかりを守ってくれたこと忘れてないよ?」

(akr_0389) あかり「他の子供たちが遊びであかりを傷つけようとしたとき、かばってくれたよね?」

(akr_0390) あかり「……桜を傷つけたら可哀想だって」

(akr_0391) あかり「あの時からずっと……いつか、恩返しをしたいって思ってたの……ふふっ、こんな話をしたって信じてもらえないよね……」

(akr_0392) あかり「確か、鶴の恩返しっていうお話があったけど……まさか、桜が恩返しをしにくるなんて……」

(akr_0393) あかり「……あかり、このままおじさんのそばにいられるのかな。いて、いいのかな……」

(akr_0394) あかり「あかりは……いっしょにいたいよ。この先も、ずっと……」

(akr_0395) あかり「ねえ、おじさん……あかりはおじさんにとって、ひつような子?」

※SE…衣擦れ&朝チュンSE…布団がぼつ!

※SE…ドア開閉&足音

※SE…ベッド軋み(座る)

※回想

あかり『……あかり、このままおじさんのそばにいられるのかな。いて、いいのかな……』

あかり『あかりは……いっしょにいたいよ。この先も、ずっと……』

あかり『ねえ、おじさん……あかりはおじさんにとって、ひつような子?』

※SE…ベッド軋み(立つ)

※S E…足音
※S E…玄関のドア開く

正面・通常

(akr_0396) あかり「きゃっ!?! お、おじさんどうしたの?
す」い勢いでドアを開けて……」

(akr_0397) あかり「……え、あかり? ほら、今日って月に何度かある、
ダンボールを捨てていい日でしょう?。」

(akr_0398) あかり「だから、あかりが入ってたダンボールを捨ててきたの。
あれ、ずっと邪魔だったもんね」

(akr_0399) あかり「……? いなくなったと思ったって、あかりが?
どうして?。」

(akr_0400) あかり「あかりは、ずっとおじさんのそばにいるよ?
そう決めたんだもん」

(akr_0401) あかり「……桜の精霊? 何それ?
おじさん、まだ寝ぼけてるんじゃない?。」

※S E…がばっ!

左耳近く

(akr_0402) あかり「わっ!?! お、おじさん……急に抱きついてきたら
びっくりするよ……」

マイクに背中を向ける (移動しながら)

(akr_0403) あかり「……それよりい」

※S E…玄関のドア閉める

マイクの方を振り返りながら

(akr_0404) あかり「今日はまだおしっこしてないよね?

……じゃあ、また朝からびゅっびゅする?。」

(akr_0405) あかり「あかりがいないと、おじさんきちんとおしっこできない
もんね? あかりのことが必要でしょう?。」

	右耳囁き
	(skr_0406) あかり「今度はあ……あかりのおしっこも面倒みてほしいな……おじさんみたいに、白いのぴゅっぴゅでできないけど……」
	(skr_0407) あかり「……ね？ いっしょにおしっこすると……ろ見ててくれる？」
	正面近く
	(skr_0408) あかり「……ふふっ。おじさん大好き♪この先もずっと一緒だからね♪」
	※END